

平成29年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営自己評価

《 財団目標 》

郷土愛を育み、教育、学術及び文化を振興し、広域交流を促進する。

《 評価の考え方 》

- ・ 当財団の目標、運営方針及び事業活動方針にもとづいて行われる財団の業務や活動の全般を評価対象とする。
- ・ 業務や活動は、本年度事業計画に記載された具体的取り組み等について、個々の事業の達成度合いをそれぞれの担当が評価する。
- ・ 可能なものは数値目標を掲げ、それ以外の目標も評価しやすい具体的な表現を心がける。
- ・ 達成度は右の4段階で評価し、平均値で表示する。
- ・ 評価結果から成果と課題を抽出して共有し、具体的改善策を講じて財団運営及び組織活動の改善を図る。

- 達成度
- 4 高い成果が得られている(95%以上)
  - 3 一定の成果が得られている(80%以上)
  - 2 まだ課題がある(80%未満)
  - 1 成果が得られていない(50%未満)

事業名	活動方針	具体的取り組み(評価基準)	達成度	担当	成果(○)	課題(■)及び改善策(□)				
(1) 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業	① 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める	歴史関連	米沢藩・上杉家ゆかりの資料の発掘と追跡に努める	2.3	2.4	○4群約500点の古文書目録を作成した。	■資料の発掘と追跡には時間がかかる。偶発的に発見されることも多いため計画が立てにくい。			
			上杉邦憲氏寄託資料の概要調査を85%まで進める	2.3						
			受入資料の概要調査と目録作成を進める	2.5						
		美術関連	米沢・置賜ゆかりの作家及び作品の調査、情報収集を進める	2.5	2.3			学芸		
			上杉本洛中洛外図屏風に関する情報の収集と整理に努める	1.8						
			米沢出身近現代作家の一次資料、二次資料の収集を進める	2.8						
		今年度開催展示会の展示資料や作品の調査及び解説を計画的に行う		2.2	2.4			郷土資料	○収集可能な資料はほぼ収蔵できている。	■現代作家・現存作家については基準の設定、調査継続が課題 ■今年度の準備で十分とは言えない ■大量の資料群の受入
		次年度以降開催予定展示会の調査及び準備を計画的に進める		2.0						
		米沢市上杉博物館資料収集基本方針に基づき資料の収集・充実を努める		3.0						
		市民や関係機関とのネットワークを広げながら調査研究を進める		2.8						
	郷土ゆかりの図書・雑誌・古典籍・古文書等の調査・収集に努める		3.5	3.8	郷土資料					
	三沢地区の神社や堂宮の資料・民俗等を調査し、年度内に報告書を刊行する		4.0							
	② 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす	企画展示	特別展「戦国時代展」職員評価平均値	3.6	3.4	学芸				
			入館見込数を上回る	4.0						
			企画展「生誕100年遠藤桑珠」職員評価平均値	3.1						
			入館見込数を上回る	2.0						
			企画展「ドールズハウスへの招待2」職員評価平均値	3.3						
			入館見込数を上回る	4.0						
			特別展「上杉家の名刀と三十五腰」職員評価平均値	3.1						
			入館見込数を上回る	4.0						
コレクション展「新収藏品展(仮)」職員評価平均値			3.2							
入館見込数を上回る			4.0							
コレクション展「米沢ゆかりの絵師たち4」職員評価平均値			3.5							
入館見込数を上回る			4.0							
職員と来館者の評価を適時に行い成果や課題を明らかにする		2.5								
常設展示		文華館では「謙信を生んだ一族・長尾氏」を12のテーマで紹介する	4.0	3.4	総務	○アンケート分析を中心に現状の展示の問題点の整理は終了 ○不具合の緊急性の高いものから更新を行った。また次年度に向けた事前調査を行った。	■資料や歴史の理解を深めるだけの準備時間はない ■この成果の上でどのような準備が必要なのかの道筋が提示されていない。			
		リニューアルに向けて問題点や課題の整理を進める	2.8							
		資料や設備・機器の修繕・更新を計画的に進める	3.3							
先人顕彰コーナー		「葦科松伯展」職員評価平均値	3.3	3.4	郷土資料 図書					
		「ナセBA開館1周年記念 米沢図書館展」職員評価平均値	3.7							
		「洋画Ⅰ 椿貞雄展」職員評価平均値	3.5							
	「我妻栄展」職員評価平均値	3.6								
	「学館(興譲館)絵図と武芸所絵図展」職員評価平均値	3.5								
「洋画Ⅱ 土田文雄展」職員評価平均値	3.0									
郷土資料コーナーでは所蔵する古典籍・古文書をもとに年7本の展示を行う		4.0	郷土資料							

事業名	活動方針	具体的取り組み(評価基準)	達成度	担当	成果(○)	課題(■)及び改善策(□)	
	③ 市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる	市立米沢図書館資料収集方針に基づき図書・資料の収集・充実に努める	3.6	3.6	図書 郷土資料	○H29年度借受465点、貸出448点 ○H29年度新規登録2,458名 ○H29年度本館貸出419,498点 ○H29年度BM貸出38,708点	
		利用者の求めに応じ、他館との相互貸借を円滑に行う	3.3				
		新規登録者数は3千人超をめざす	3.0				
		本館の年度貸出冊数は40万冊を上回る	4.0				
		自動車文庫の年度貸出冊数は4万冊をめざす	4.0				
		各種のレファレンスや相談に丁寧に対応し、データベース化を進める	3.6				
	④ 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る	新規受入資料のデータベース登録100%をめざす	3.5	3.0	学芸	○随時、登録を行い、ほぼ入力できた。  ○図書館と連携し、井形氏資料の整理を実施。  ○早い時期での修復実施 ○上杉本洛中洛外国屏風の金具鉸の鍍金修理実施	
		新規受入資料の画像登録70%をめざす	2.0				
		未受入資料及び寄贈・寄託資料の調査・受入作業を計画的に進める	2.8				
		企画展等を契機に未撮影資料の撮影を計画的に進める	3.2				
		資料の燻蒸、収蔵庫のクリーニング及びIPM管理を適切に行う	3.5				
		所蔵する資料や芸術作品の修繕・修復を計画的に進める	3.0				
		収蔵庫や展示室の適正な空気環境の維持に不断に努める	3.0				
3.0	3.0	学芸 郷土資料					
収蔵文化財総合データベースの登録件数を1万4千件まで増やす				3.0			
デジタルライブラリー公開資料の翻刻掲載を計画的に進める	3.5	郷土資料					
(2) 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業	① 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する	「米沢市子ども読書活動推進計画」を積極的に推進する	3.8	4.0	図書	○団体貸出冊数H28年度30,918冊、H29年度44,825冊 ○12月開催 ○172名参加(「2016図書館手づくりのへや」参加者78名に対し)  ○714冊配布	
		ブックスタート事業で、7ヵ月児健康教室時に読み聞かせを行い絵本2冊を贈呈する	4.0				
		おはなしのへやでの「おはなしかい」を月3回開催する	4.0				
		図書館団体貸出制度の利用促進に努め、利用件数で前年度を上回る	4.0				
		読書活動推進の一環として、市内小中学生読書感想画展を開催する	4.0				
		夏休み子ども図書館フェアを4日間開催し、前年度の2倍以上の参加者をめざす	4.0				
		小学校巡回文庫は市内全小学校を対象に年4回の配本・回収を行う	4.0				
		「アタゴール号」による絵本読み聞かせを年2回以上開催する	4.0				
	高校生以下の希望者に、自己の読書履歴を記録する「読書通帳」を配付する	4.0					
	② 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する	PSは季節企画と造形体験を柱に展開し、前年度の入場者数を上回る	3.0	3.4	学芸	○前年比86%  ○ミュージアムスクール9回 出前授業9回	
		WSは「つくる」をテーマに、毎回定員の80%以上の申込数をめざす	2.0				
		「ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ」を年2回開催する	4.0				
		チルドレンキュレーターズ育成プログラムを年11回実施する	4.0				
		ミュージアムスクールと出前授業を合わせて年15時間以上実施する	4.0				
		米沢市中学生チャレンジウィークを受け入れ、趣旨に沿って指導する	3.5				
	博物館実習とインターンシップ指導プログラムの充実を図る	3.2					
	③ 生涯学習施設また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する	教育事業	特別展等の理解深化を目的に年2回の講演会等を開催する	4.0	3.8	学芸	○明和6年米沢城下絵図デジタルマップを公開
			企画展等の会期中に年10以上のGTを開催する	4.0			
文華館では小テーマごとに計12回のCTを開催する			4.0				
上杉家・米沢藩の歴史理解に資するコンテンツを新規に制作する			4.0				
レファレンスは内規に従って処理し、データベース化を進める			3.2				
こどもふるさと歴史講座を年2回、2校を対象に開催する		4.0	4.0	図書 郷土資料	○西部小と関根小で開催  ○我妻榮展記念講演会を開催		
ふるさと歴史講座を年3回開催する		4.0					
古文書解読講座を年2回開催する		4.0					
古典文学講座を年3回開催する		4.0					
展示の理解深化を目的に講演会を開催する		4.0					

事業名	活動方針	具体的取り組み(評価基準)	達成度	担当	成果(○)	課題(■)及び改善策(□)				
	普及事業	上杉博物館年報(28年度版)と伝国の社だより(年2回)を発行する	4.0	3.9	学芸	○博物館Twitterの新規開設				
		博物館所蔵美術作品を年2回、市内の学校・公共施設に貸し出す	4.0							
		ホームページやブログ、フェイスブックでの広報頻度を上げる	3.6							
		伝国の社ポケットスケジュールを制作し広報に努める	4.0							
		内覧会の広報に努め、1回あたり20名超の参加をめざす	4.0	3.7	総務			○年間6展覧会合計で145名、1展覧会あたり24.17名の参加があった ○各学校に案内を出した		
		中学生・高校生の「無料観覧証」の利用促進に努める	3.0							
		ナセBAホームページの充実・更新に努める	3.8							
		「図書館だより」を年4回発行する	4.0	3.7	図書 郷土資料			○前年度301名、今年度384名		
		読書週間図書館フェア関連事業の参加者は前年度を上回る	4.0							
		障がい者の学習支援体制の整備を進める	2.8							
		貸出基準にもとづき適正に貸与する	3.5							
		施設貸与事業 (博会議室)	金銭処理や利用実績の管理及び各種報告を適時適切に行う	3.5	3.2			舞台		■同月前年比12%減
			利用者のニーズを把握し、前年度実績を上回る利用をめざす	2.5						
		施設貸与事業 (駐車場)	金銭処理や利用実績の管理及び各種報告を適時適切に行う	4.0	3.9			総務		
	利用者のニーズを把握し、市と連携して利用促進に努める		3.8							
	④ 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める	サポーター運営 (伝国の社)	「活動要綱」に基づいて活動し登録数及び活動人数を増やす	3.0	2.8	サポ担	○新規分野への参加  ○ファンクラブと合同のバスツアーに研修として参加。 ○館外研修アンケートを実施			
			年間活動計画を策定し、サポーターの活動機会を広げる	3.6						
			「洛洛屏風」案内人を新規に2人養成する	1.0						
			「伝国の社サポーター通信」を定期的に年4回発行する	3.0						
			よりよい活動に資するため館内及び館外研修を実施する	3.6						
爾後の活動に資するためアンケートを実施する			2.8							
サポーター運営 (図書館)		「図書館サポーターの活動に関する要綱」を作成する	4.0	3.0	図書 郷土資料	○4月に作成  ○おはなしかいの勉強会を実施				
		年間活動計画を策定し、サポーターの活動機会を広げる	3.0							
		よりよい活動に資するため館内研修を実施する	4.0							
		「図書館サポーター通信(仮)」を発行する	1.0							
サポーター運営 (ギャラリー)		ボランティアが広く参画する機会を設ける	1.0	2.0						
		展示の企画や運営に市民の声を反映し内容の充実に努める	3.0							
ファンクラブ事業		特典の周知や広報活動を強化し350人の会員登録をめざす	4.0	3.6	FC担	○H29年度会員368人  ○初めてバスツアーを開催し、大変好評だった。 ○未利用会員の割合17.4%				
		ファンクラブ会報(年2回)及び各事業情報を適時に送付する	4.0							
		ファンクラブ会員限定事業は貸切バスで県外研修に取り組む	4.0							
		博物館及びホール事業未利用会員を15%未満に減らす	3.0							
	さらに魅力あるクラブをめざしてPRを強化し、特典の見直しを進める	3.0								

事業名	活動方針	具体的取り組み(評価基準)	達成度	担当	成果(○)	課題(■)及び改善策(□)		
(3) 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業	① 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める	山形県補助事業	「JazzCaféLive」職員評価平均値	3.0	3.0	舞台	○入場者達成率101.25% ○入場者達成率64.34% ○入場者達成率89.52% ○入場者達成率125.71% ○入場者達成率158.41% ○入場者達成率58.58% ○入場者達成率105.21% ○入場者達成率63.49% ○入場者達成率100.32% ○発表機会を広げるため協力	
			入場見込数を上回る	4.0				
			「伝国の杜オーケストラ演奏会」職員評価平均値	2.9				
			入場見込数を上回る	2.0				
		米沢市共催事業(文化ホール)	「山形交響楽団ユアタウンコンサート2017」職員評価平均値	3.2				
			入場見込数を上回る	3.0				
			「よねざわ市民ミュージカル 梵天丸」職員評価平均値	3.4				
			入場見込数を上回る	4.0				
			「春風亭昇太・林家たい平二人会」職員評価平均値	3.1				
			入場見込数を上回る	4.0				
			「AKASAKA木管五重奏団」職員評価平均値	2.4				
			入場見込数を上回る	2.0				
			「吹奏楽の日コンサート2017」職員評価平均値	3.2				
			入場見込数を上回る	4.0				
			「レ・タンブル&ハルモニア・レニス」職員評価平均値	2.7				
			入場見込数を上回る	2.0				
	米沢市共催事業(文化会館)	「アキラさんとまこと君 ふたりのオーケストラ」職員評価平均値	2.4					
		入場見込数を上回る	4.0					
		よねざわ市民ミュージカル育成活動を支援する	3.0					
		「ズーシアンプラス 音楽の絵本」職員評価平均値	3.0					
	事業計画書や広報計画書及びチラシ等を適時に作成し、広報活動を強化する 自主事業入場者のアンケートを分析して、次年度以降の採択事業に反映させる	入場見込数を上回る	4.0					
		「DRUM TAO」職員評価平均値	3.3					
	ギャラリー	入場見込数を上回る	4.0					
		「春・桜・祭展」職員評価平均値	3.3					
		入館見込数を上回る	4.0					
		「ナセBA開館1周年記念 ますむらひろし原画展」職員評価平均値	3.7					
		入館見込数を上回る	4.0					
		「宮島詠士展」職員評価平均値	3.2					
		入館見込数を上回る	3.0					
		「ARTS MEET OKITAMA2018」職員評価平均値	3.6					
		入館見込数を上回る	3.0					
		「ARTS MEET OKITAMA2017大賞展」職員評価平均値	3.8					
入館見込み数を上回る	3.0							
芸術団体や上杉博物館と連携し、市民の芸術鑑賞の機会を広げる オープンギャラリーでは郷土出身作家作品を年間4回展示替える	4.0							
	4.0							
② 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する	市民の多様な芸術文化活動の発表の場をつかいやすく提供する	3.6	3.9	図書 郷土資料	○H29稼働率92.9% ○H29稼働率54.6%			
	市民の芸術文化活動の拠点として機能する	3.8						
	市民ギャラリーは公平・公正を旨として運営し、80%以上の稼働率をめざす	4.0						
	体験学習室は50%以上の稼働率をめざす	4.0						
③ 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する	地元のアマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供する	3.5	3.8	舞台	○7回実施(中止1回、大雪のため)			
	地域の小中高生50名の、当ホールコンサートへの招待を支援する	4.0						
	中心市街地の活性化支援としてウッディコンサートを年間8回開催する	4.0	4.0	館長				
	次世代を担う子どもや若手芸術家の育成を支援する	4.0						

■チラシ発行の遅れ

事業名	活動方針	具体的取り組み(評価基準)		達成度	担当	成果(○)	課題(■)及び改善策(□)				
	④ 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する	山形県補助事業	「山形県能楽の祭典」職員評価平均値	2.5	2.3	舞台	○入場者達成率42.86% ○入場者達成率78.87%	■広報の力不足による集客減 □県外団体へのPRや広報			
			入場見込数を上回る	1.0							
			「五人囃子の世界」職員評価平均値	2.8							
			入場見込数を上回る	3.0	2.7						
			こども狂言の新作台本を製作する	2.0							
			狂言クラブでは年15回以上の稽古、年5回以上の発表を行う	3.0							
能狂言を通して広域の交流を促進し、演技の向上をめざす	3.0										
(4) 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業	① 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす	所蔵資料の解説、写真撮影及び目録作りを計画的に進める	2.6	3.2	学芸	○目録化されていない古文書群一覧を作成。 ○125回644人に案内をした。 ○東京大学史料編纂所の共同研究は調査研究にかなり有用である	■申請時期や条件等について例外的な対応をせざるを得ない場合がある。				
		資料の特別利用・貸出及び掲載許可等は規則にもとづいて厳格に行う	2.8								
		年間2冊以上の企画展図録を編集・発行する	4.0								
		サポーター洛洛案内人による国宝屏風の説明を日常化する	3.0								
		年間10回程度、研修会や授業等の講師として成果を市民に還元する	4.0								
		大学や研究機関との協力や共同研究を進め、学芸員の力量を高める	3.0								
		古文書資料や郷土資料の整備を進め、市民や研究者の利用に供する	4.0	郷土資料							
		ミュージアムショップ事業	商品の陳列・宣伝など、展覧会と連動した運営を行う	4.0				3.7	総務Sチーム	○4月～11月の間情報ライブラリーとショップの場所替を行い、販売物量増加につながった。 ○展覧会に関連した期間限定セールを行った ○戦国時代展、ドールハウス展、刀剣展において他社・他館の商品を受託販売し、多くのお客様にご満足いただけた。	□スケジュールや什器の配置等について、綿密な移動計画を作成する。
			展示に関連する在庫図録の販売を積極的に行う	3.6							
			新規商品の開発に取り組み、三つ以上製品化する	4.0							
	利用者の利便性と販路拡大のためWebショップを充実する		3.4								
	受託商品の充実を図り、他館との委託販売にも積極的に取り組む		3.8								
	博物館制作図録と図書館刊行書籍を相互に販売する		4.0								
	各種宣伝媒体を活用し、前年度比1割増の売上利益をめざす		4.0								
	売上金の処理や販売委託契約、在庫管理を確実に実行		2.8								
	② 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める	芸術文化活動のための施設貸与事業(ギャラリー)	貸出基準に基づき、公益性を保って適正な運営に努める	4.0	3.8	館長					
			米沢市芸術文化協会と連携し、利用者に喜ばれる運営を行う	3.0							
			施設情報の発信に努め、地域の芸術文化の振興に寄与する	4.0							
			施設の管理を適切に行い、施設・設備の適正な維持に努める	4.0							
		芸術文化活動のための施設貸与事業(座の文化)	「座って行う日本文化」の活動施設として適正な運営に努める	4.0	3.3				総務	○利用者数は昨年度を上回った	■利用者の高齢化に伴う稼働率の減少
			喜ばれる運営をめざし、利用件数・利用者数で前年度を上回る	2.0							
			施設の管理を適切に行い、施設・設備の更新を計画的に進める	4.0							
			第27回市民茶会への入場者200名以上をめざす	4.0							
		座の文化伝承館自主事業	「フルートと手作り楽器のコンサート」の入場者60名以上をめざす	2.0	3.3				舞台 学芸 サポ担	○入場者達成率100.95% ○入場者達成率70.00% ○入場者達成率733.00%	□年間計画での活動日の変更に伴う周知
「昭和の息吹」展の入場者200名以上をめざす			4.0								
サポーターとの協働を積極的に進める	3.0										
③ 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす	清掃や環境美化に努め、清潔で快適な空間づくりに努める	4.0	3.5	図書 郷土資料	○通年でアンケート調査実施中						
	利用者の意図を理解した上で説明と対応を丁寧に行う	3.4									
	各種アンケート調査を実施・分析し、来館者サービスに反映させる	3.0									
	市民の声を職員会議等で検討・共有し、運営の改善に努める	3.2									
	図書館蔵書の除籍と廃棄を適時に行う	3.8									
④ まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する	市中心市街地活性化協議会等と連携してにぎわいづくりに貢献する	4.0	4.0	館長	○「ナセBA周辺 まちなかぶらっとランチマップ」の発行 ○わいわいバザー(米沢養護学校)、まちなかアート市場、ナセBAの緑側(中心市街地活性化協議会)など						
	「こまや」を活用し、地元商店や各種団体との共催事業を季節ごとに行う	4.0									
	ブックカフェの適切な運営により憩いの空間を提供する	4.0									
	BBOとの共催で亀山達夫ワークショップを開催する	4.0									

事業名	活動方針	具体的取り組み(評価基準)	達成度	担当	成果(○)	課題(■)及び改善策(□)	
(5) 財団の適正な運営に関する事業	① 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める	法令や関係協定及び財団の定款・諸規程に基づき適正な管理を行う	4.0	3.8	事務局長	○H29年度455,000円受領(目標の91%) ○139,413人 ○10,304人 ○5,285名来場 ○H29年度入館者241,876名 ○H29年度利用者80,248名 ○H29年度入場者54,619名	
		理事会や評議員会等の開催及び運営を円滑に行う	4.0				
		予算の執行及び財務管理を適正に行う	4.0				
		財団運営に必要な外部の研修会及び研究会等へ計画的に派遣する	3.0				
		伝国の社の利用者総数は22万人を上回る	4.0	3.8	総務		
		予算書、事業計画書及び決算書、事業報告書を期限内に作成する	4.0				
		博物館入館料は収入見込み額を確保する	4.0				
		ギャラリー、駐車場の使用料を適正に徴収し期限内に市に納付する	4.0	3.0	学芸		
		50万円を目標に寄附金受け入れ業務に積極的に取り組む	3.0				
		博物館常設展・企画展の延べ入館者数は13万人超をめざす	4.0	3.5	舞台		
		体験学習室利用者数は延べ1万3千人超をめざす	2.0				
		県補助事業及び市共催事業の会計事務処理を適正に行う	3.0	4.0	館長		
		文化ホール自主事業入場者5千人超をめざす	4.0				
		図書館閲覧室の延べ入場者数は20万人超をめざす	4.0				
	図書館学習室の延べ利用者数は8万人超をめざす	4.0					
	市民ギャラリーの延べ入場者数は4万人超をめざす	4.0	3.8	総務			
	② 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携を進める	職員の勤務シフトを計画的に作成し、緊急時の職員配置も確実に進行			4.0		
		各施設の総合管理業務委託者と調整を密にし円滑な施設管理に努める			3.5		
	図書館カード利用による博物館入館者数は前年度を上回る	4.0			3.9	図書 郷土資料	
	市民ギャラリーへ貸し出す美術作品等の選定・管理を適切に行う	3.3					
	職員の勤務シフトを計画的に作成し、緊急時の職員配置も確実に進行	3.8			3.0	事務局長	
	博物館の展覧会に合わせて関連図書の特集コーナー等を設ける	4.0					
	③ 米沢・上杉の歴史と文化を発信し、文化及び観光の交流拠点をめざす	展覧会やホール自主事業で、上杉文化エリア懇話会会員との連携を促進する			3.0	3.9	総務
		観光拠点の一つとして、米沢四季のまつりに積極的に参加する			4.0		
		施設内外の案内表示の修繕・更新及び環境の美化に努める			3.8		
		ホームページ、ブログ、フェイスブックの充実・更新に努める			3.8		
		有料・無料の広告媒体を積極的に活用して広報に努める			3.8		
博物館無料入館の日の周知・広報に努め、前年度同日の入館者数を上回る	4.0	2.7			事務局長		
④ 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む	業務・事業の見直しを進め、時間外労働や多忙感の縮減に努める					2.0	
	施設・設備の保全に努め、修理と更新を計画的に進める		3.0				
	職員の健康診断及び健康保持に関する業務を適正に推進する		3.0				
火災や地震を想定した避難訓練を年2回実施する	4.0		4.0	総務			
マイナンバー等個人情報の保護に細心の注意をもって当たる	4.0						
置賜の庭の環境整備及び行屋の維持管理に努める	4.0		3.9	図書 郷土資料			
火災や地震を想定した避難訓練を年2回実施する	4.0						
利用者の個人情報は関係法令と財団規程にもとづき厳密に扱う	3.8						
⑤ 複数の内部評価・外部評価に組み込み、運営やサービスの改善に努める	財団運営の目標及び方針を明示し、財団運営自己評価シートを作成する		4.0	3.6		事務局長	
	複数の評価に組み込み、事業やサービスの改善・向上に努める		3.0				
	新採研修や各種研修会を効果的に実施し職員の資質の向上をめざす	3.0					
	伝国の杜運営協議会を年2回開催し、運営や事業の改善に努める	4.0					
	ナゼBA運営協議会を年2回開催し、運営や事業の改善に努める	4.0	3.6	総務			
	普及ミーティングを毎月開催し、スタッフの資質向上をめざす	4.0					
接遇マニュアルの更新を進め、接客サービスの向上に努める	3.3						